

琉球の方言 12巻 : 八重山・与那国島

法政大学沖縄文化研究所

---

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

琉球の方言

(巻 / Volume)

12

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

241

(発行年 / Year)

1987-07-20

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00012657>

# 凡 例

以下単語の記述の順にしたがう。

## 1) 見出し項目…音韻記号による方言

はねる音N、無気音'、以下アルファベット順の配列である。(ガ行鼻濁音はgの次ぎ)。

\* 長音は音韻として認めなくてよいのではないかと思われるが、副詞や複合語などいつも長音で現れるものなどは、:で表記した。その場合位置はアルファベットの一番初めにもってきた。

語中のp, t, k, cはすべて無気音なので、無気音の記号'は省略した。なお、kiruN(する)は、複合語となって語中にきても有気音にならないので、前項語との間に-を付けた。

単語の末尾に附した\*は、調査しても出てこなかったもの、推定によるものという印である。

## 2) 仮名表記による方言(音韻表記と仮名の対照表参照)

## 3) 品詞名

[名]…名詞、代名詞	[連体]…連体詞
[形]…形容詞	[連語]…連語
[動]…動詞	[感]…感動詞
[助]…助詞	[接]…接続詞
[副]…副詞	[助動]…助動詞
[辞]…接頭辞、接尾辞	[句]…句
[慣]…慣用句	[補]…補助動詞、補助形容詞

## 4) 動詞の場合は、その動詞の活用の型。および完了形。

<例>bagaN バガン [動] 3A bagasjaN 3

この例は、動詞の型が3Aで、その完了形がbagasjaNである。(型については、末尾の動詞活用一覧参照)。

## 5) 収録文献あるいは調査班(者)、および、ページ

[収録文献]

生…高橋俊三『沖縄県八重山郡与那国町比川方言の生活語彙』(1975年)

昔…福田晃他『与那国島の昔話』(1973年)

こ…吉元政吉『いつまでも残したい与那国のことば』(1981年)

続…吉元政吉、初枝『続 いつまでも残したい与那国のことば』(1984年)

芸…宮良賢貞『八重山芸能と民俗』(1979年)

稲…渡部忠世、生田滋『南島の稲作文化』(1984年)

無…与那国町教育委員会『与那国の無形文化財』(1978年)

- 資…日本放送協会『全国方言資料 琉球編Ⅱ』（1972年）  
 歴…池間栄三『与那国の歴史』（1972年）  
 植…天野鉄夫『琉球列島植物方言集』（1975年）  
 図…本山桂川『与那国島図誌』（1925年）  
 探…河村只雄『南方文化の研究』（1973年）  
 婚…瀬川清子『沖縄の婚姻』（1969年）  
 素…宮良泰平『続 八重山方言の素性』（1979年）  
 ま…『まつり37 特集与那国島』（1981年）  
 民…上江洲均『沖縄の民具』（1972年）  
 年…比嘉朝進『沖縄の年中行事』（1984年）  
 ア…『続アシャゲの遊び』  
 黒…中本正智「黒潮列島の語彙」（『黒潮の民族・文化・言語』（1980年）  
 沖I…池原はやみ「田んぼに関する語彙」（『沖縄方言研究（第4号）』（1982年）  
 沖T…渡久山春憲他「魚貝語彙」（『沖縄方言研究（第4号）』（1982年）  
 S…高橋俊三「与那国の自然会話ノート」（1979年）  
 T…高橋俊三「高橋俊三調査ノート」（1974年）その他  
 N…長浜洋子「＜卒業論文＞与那国島の民話研究」（1976年）  
 A…東浜正美「＜卒業論文＞与那国島の地名に関する語彙」（1984年）

\*例えば、この欄に「昔56」とあるのは、『与那国の昔話』の56ページにその単語があることを表す。

[昭和59年度調査者]

- 1…安里春憲、吉門まゆみ、平良尚子
- 2…新川善裕、幸地貢、中村尚子
- 3…大城るみ子、宇良為男、古堅尚美
- 4…伊計強、内間ちさと、嶺井祐子
- 5…前野政桂、東浜正美、大城昌代

[昭和60年度調査者]

- 6…新田岩、金城兵輝
- 7…金城尚樹、宮城光恵
- 8…糸満真、赤嶺和江
- 9…仲田達志、松元悦子
- 10…大浜知司、知名和子

[昭和61年度調査者]

- 11…糸満真、松元悦子、平良宣正
- 12…新田岩、知名和子、伊礼桂子
- 13…仲田達志、赤嶺和江、上原美千代

14…大浜知司、伊波美和、佐久田あゆみ

15…金城兵輝、花城敦子、崎浜和美

16…宮城光恵、伊地保裕、翁長洋子

\*例えば、この欄に1とあれば、昭和59年度に調査した安里・吉門・平良の報告した単語であることを表す。

## 6) 意味

特殊な用法・意味の場合そのむねを次のような略号で表した。

<新>…新語	<古>…古語
<文>…文語	<移>…移入語
<稀>…稀な語や用法	<幼>…幼児語
<外>…外来語	<擬>…擬態語、擬声語
(地) …地名	(植) …植物
(動) …動物	(魚) …魚類
(貝) …貝類	(昆) …昆虫

単語の意味は、初めになるべく短く記し、次に詳しく説明するようにした。

## 7) 用例

他の文献から引用する場合は、文献ごとの表記法の差による混乱を避けるために、見出し単語と同じ方法によった。出所を末尾に括弧をつけて明らかにしたが、見出し単語と同じ文献による場合は、重なるので省略した。